※令和４年度以降入学生用

学校番号	T1202

令和５年度　国語科

教科	国語	科目	大阪文学演習	単位数	１単位	年次	２～４年次
使用教科書	特になし						
副教材等	自主制作教材・プリント等						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

大阪は古くから文化が栄え、特に近世には上方文学の一大中心地になりました。以来文学者を輩出し続け、現代においても文学・芸能面で一定の存在感を保ち続けています。その大阪の地で学ぶ皆さんには、ぜひ先人たちが築いてきた言葉の世界を味わってほしいと考えます。同時に普段使っている「大阪ことば」を改めて見直し、どのように表現していくかも学びます。

２　学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、大阪の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。

(2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、先人のものの見方、感じ方、考え方とのかかわりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

(3) 言葉の価値への認識を深め、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、郷土の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	大阪が生み出した文学者とその作品についての知識を身につけ、大阪の言語表現について理解を深めている。	大阪の風土とそこから生まれた「大阪ことば」について、考えを広げたり深めたりすることができている。	郷土を代表する文学者の作品に親しむとともに、それを生み出した風土や文化の担い手であることを自覚し、地域社会での関わりに生かそうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
	大阪文学入門 ［教材］ 独自のプリント教材	a：大阪に関係した作品・作家・芸能における基本的な事柄について、理解している。 b［話／聞］：大阪の言葉や文化についてどんな感覚を持っているか、お互いに相手が理解できるよう伝え合っている。 c：大阪の文学に興味を持ち、その文学作品や作家について理解を深めようとしている。	考査	課題	観察 ワークシート 振り返りシート
	近代大阪文学 ［教材］ 独自のプリント教材	a：言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 b［　読　］：作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。 c：大阪ゆかりの近代作家に興味を持ち、その文学作品について味わい、理解を深めようとしている。	考査	課題	観察 ワークシート 振り返りシート
	現代大阪文学 ［教材］ 独自のプリント教材	a：言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 b［　読　］：作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。 c：大阪ゆかりの現代作家に興味を持ち、その文学作品について味わい、理解を深めようとしている。	考査	課題	観察 ワークシート 振り返りシート
	大阪の言葉と文化 ［教材］ 独自のプリント教材	a：言葉が、その地の歴史や風土に根差したものであることを理解している。 b［　書　］：大阪の言葉を用いた表現で、自分の考え・思いを伝える。 c：大阪の言葉に興味を持ち、自分の生活と関連づけて理解を深めようとしている。	考査	課題	観察 ワークシート 振り返りシート
	大阪の古典文学 大阪の人と文化 ［教材］ 独自のプリント教材 ［教材］	a：言葉が、その地の歴史や風土に根差したものであることを理解している。 b［話／聞］：作品や文章に表れているものの見方を話し合いそれぞれの感じ方、考え方を伝え合えている。 c：大阪の言語文化に興味を持ち、自分の生活と関連づけて理解を深めようとしている。	考査	課題	観察 ワークシート 振り返りシート

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準［ｂ］について…括弧内には［　話／聞、書、読　］のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　１４　）時間

・書くこと　…　（　７　）時間

・読むこと　…　（　１４　）時間